



※ 一般質問：議員が町の行政について質疑し、町側に答弁を求めるものです。

※ 質問者本人の原稿を、広報分科会委員が議事録に基づき校正しています。

証明書のコンビニ交付と駅前窓口コーナーの在り方を問う

コンビニ交付サービスの導入について本町では、平成31年度中の早期導入完了に向け検討を進めるとのことだが、検討状況は。

また、本町では、開成駅東口の駅前窓口コーナーが設置されているが、コンビニ交付が実現された場合、その機能の大部分は代替できるが、今後の窓口コーナーの在り方は。

問 コンビニ交付へ取り組むにあたって、町としての考えとメリットは。

答 サービス向上のために導入するものであるという中で、国のほうでは平成31年までに導入すると財政措置が見込まれることが一つの大きな理由である。役場が閉庁している時間帯、また土日祝日も開いているというメリットがある。

問 現在の窓口の手数料は一通300円だが、コンビニ交付の手数料は安くするべきと考えるが。

答 県内では、横浜・相模原市などで手数料を安くしている。広域的な観点



佐々木 昇 議員



駅前窓口コーナー

もあるもので、そういう意味では小田原・平塚市などは予定をしておらず聞いています。手数料の関係については条例改正等も伴ってくるので、状況を見ながら検討したい。

問 今後の窓口コーナーの在り方は計画的に取り組んでいくべきと考えるが。

答 現在、駅前の窓口は大変好評である。コンビニ交付をはじめたからといって、いきなり件数が減るとは認識してない。マイナンバーカードがなければ使えないので、これを増やさない限りはコンビニ交付も増えていかない。相乗効果で両方が増えていけば一番良い。駅周辺の人たちにとってもそこに窓口があることは大変重要なので、扱いについては慎重に検討していく必要があると認識している。

子どもたちに必要な環境整備の充実を



山田 貴弘 議員

総合計画は、町政運営の指針であり、町の将来像を明確にし、それに向けた施策の方向性を定めている。

後期基本計画策定について、現況・課題・基本方針・計画（詳細施策）の抽出により方針を示し、「いつまでも住み続けたいと思えるまちづくり」に充実を図るための施策を。

問 南部コミュニティセンター（どんぐり会館）の利用率低下、今後における設置目的のあり方の検討、あわせて幼稚園での3歳児教育導入後、体育施設として位置付けを。

答 位置付けを含めたあり方について教育委員会と検討する。

問 需要の増加に伴う、放課後児童クラブ（学童保育）における生活環境の改善を図るため、小学校敷地内に施設の建設計画の決定を。

答 来年度、今後の学童保育の量的見込みと実施場所の確保などについて計画に入れていく予定。新たに実施場所の確保が必要であれば、下校時の安全

面等を考慮し学校内も視野に入れた検討をする。

問 教室内を使った場合、学童施設で使う備品等はその都度撤収という形をとっている。人手不足という時代の中で、改善していかねばいけない。

答 学童保育の大切さは町にとって子育て支援の大切な一つの施策、認識しながら進める。

問 都市公園法改正に伴う、都市公園内に「公募設置管理制度（Park PFI）」を活用した公園管理のあり方の検討を。

答 公園施設の老朽化が進んでいく中、限られた財源により、適切な維持管理による安全管理を進めていくうえで、制度には関心を持っている。ただ、収益の見込みがポイントとなり、本町の公園の利用状況で集客見込みを考えると、現時点では実現性が低い。



子どもたちのために充実した環境整備を

生涯学習の充実を問う

生涯学習講座の受講者数は平成24年度の1,294人をピークに減少傾向となり、平成29年度は750人の参加延べ人数にとどまっている。生涯学習講座のあり方に加え、関連施設の整備も含めた生涯学習の充実について現状の施策展開では限界がある。

問 生涯学習講座の運営主体について現在教育委員会が担っているが、小田原市のように町民が主体となった組織を立ち上げて運営を委託してはどうか。

答 小田原市では、2012年に設立されたNPO法人小田原市生涯学習推進委員の会という団体が同市と連携・協働し、学習情報の提供や学習講座の開設運営・人材バンク管理・運営を行っている。同市のように住民が主体となつて講座が運営されることは理想であるが、本町においては生涯学習の運営全般について幅広く担う団体がなく、同市のような取り組みを進めるには団体の発掘、育成が課題である。本町としては規模が小さいことを生かし



石田 史行 議員



町民センター図書室

ながら、町民同士で身近にできることをやっていくことを原点到置きつつも、様々な町民ニーズに対応していくためにご提案の方法も視野に入れながら検討を進めてまいりたい。

問 町民センター図書室を町立図書館として開成駅前新たに整備し、生涯学習の拠点とする考えは。

答 今回の総合計画の見直しに伴う町民との意見交換及び町民アンケートの中で、図書室に関する要望が非常に多くあった。新庁舎が完成すれば教育委員会事務局、保健福祉部局が全て新庁舎に移り、本来の保健センター・町民センターに改修するので図書室も合わせて再整備をして充実した図書室に改修していきたい。